

難解な和声学を楽しみながら 覚える画期的な1冊が誕生!

和音記号の擬人化でもう丸暗記とはサヨナラ!

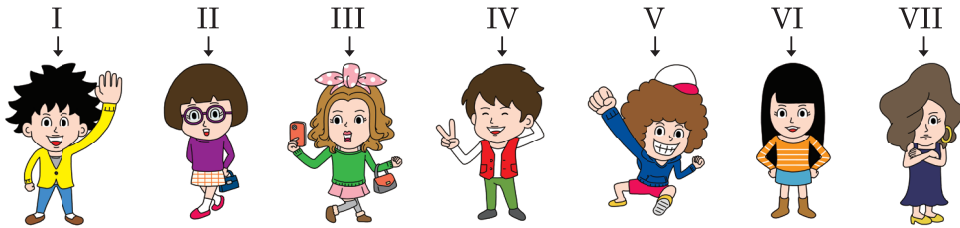
キャラ和声

A5判/112頁/定価[本体1,600円+税]★



和音記号をまさかの擬人化!!

和音記号を人間に例えて、ひとりひとりの“性格”を分析。今まで分かりにくかった和音進行の動きが、キャラクターの人間関係に反映されるので“丸暗記でなく、きちんと納得”して理解できます。



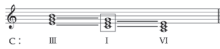
CHAPTER 2

【機能の章】

2-4 3つの機能

Tonic (トニック)

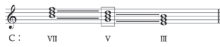
Tonicとは、曲に安定感や終止感をもたらす機能で、主音の性質を強く持っています。曲の終わりに必ずと言っていい程この機能が使われます。



この機能を最も強く持つ和音は、その調の主和音であるIです。その次に、平行調の主和音にあたるVIが強く持ち、IIIも使われ方によってはTonicとして機能します。

Dominant (ドミナント)

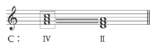
Dominantとは、期待感や緊張感をもたらす機能で、属音の性質を強く持っています。Tonicに進もうとする強いエネルギーを秘めています。



この機能を最も強く持つ和音は、Vです。その次に、導音を根音を持つVIIが強く持ち、IIIも使われ方によってはDominantとして機能します。

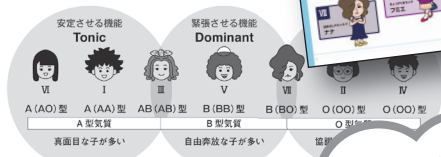
Subdominant (サブドミナント)

Subdominantとは、叙情感や開放感をもたらす機能で、下属音の性質を強く持っています。TonicやDominantほど明確な性格がないため、Subdominantがなくても曲は成立するのですが、聴く人によって様々な彩りを感じるスパイスになります。



この機能を最も強く持つ和音はIVで、その次にIIが強く持っています。

和音記号の 関係性がひと目で 分かる相関図



キャラクターの
性格がつかみ
やすい4コマ
も必見!

